

次期総合振興計画の策定に 向けた検討経緯等

◆次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等について

■現在の総合振興計画について

1 さいたま市総合振興計画とは

総合振興計画

—2020さいたま希望(ゆめ)のまちプラン—

長期的な展望に基づき、

- 都市づくりの将来目標を示す
- 市政を総合的、計画的に運営するため、
計画や事業の指針を明らかにする

市政運営の最も基本となる計画

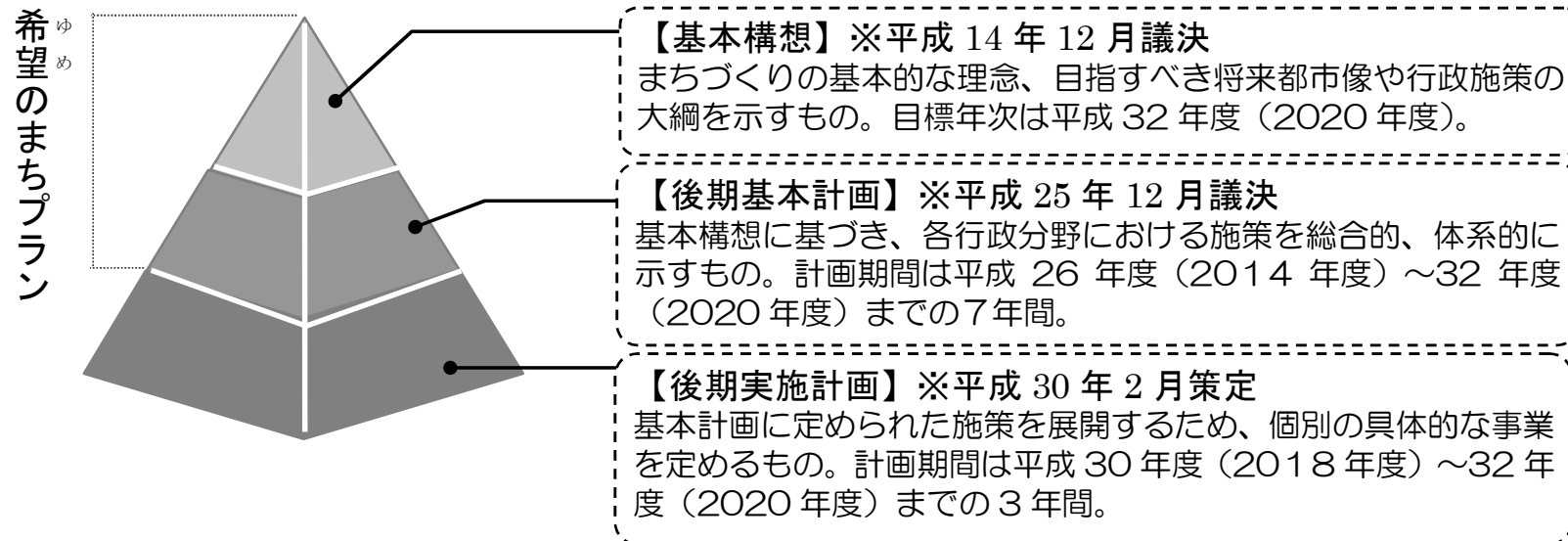
◆次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等について

■現在の総合振興計画について

2 さいたま市総合振興計画の全体像

「長期的な展望に基づいて、都市づくりの将来目標を示すとともに、市政を総合的、計画的に運営するために、各行政分野における計画や事業の指針を明らかにするものであり、市政運営の最も基本となる計画」

総合振興計画の3層構造と計画期間



◆次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等について

■現在の総合振興計画について

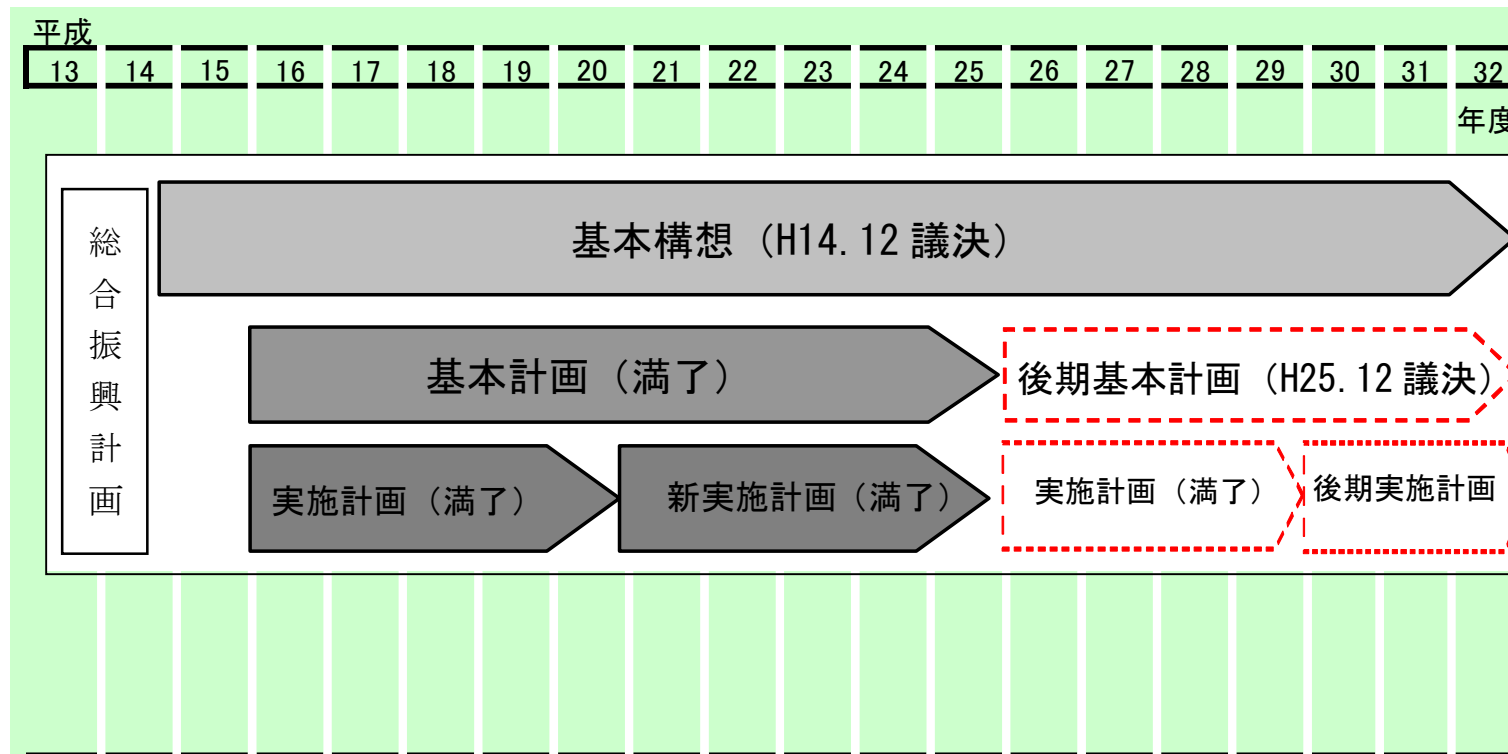
3 さいたま市総合振興計画の構成

基本構想	後期基本計画	後期基本計画後期実施計画
1 目的と期間	第1部 後期基本計画の策定に当たって	第1編 後期基本計画後期実施計画の策定に当たって
2 都市づくりの基本理念		
3 将来都市像……………	第2部 重点戦略 →	第2編 重点戦略の推進の考え方
4 施策展開の方向	第3部 分野別計画 →	第3編 実施計画事業 ※353事業（再掲事業を含む。）
※将来都市像の実現に向けた、7分野における施策展開の方向性	第4部 各区の将来像	
5 実現に向けて-----	第5部 計画推進の基本的な考え方 →	第4編 計画推進の主な取組 ※46取組

◆次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等について

■現在の総合振興計画について

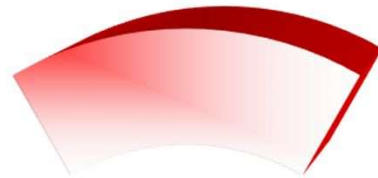
4 さいたま市総合振興計画の計画期間



◆次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等について

■現在の総合振興計画について

都市づくりの基本理念



市民と行政の協働

人と自然の尊重



未来への希望と責任

◆次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等について

■現在の総合振興計画について

さいたま市の目指す3つの将来都市像

多彩な都市活動が展開される

東日本の交流拠点都市



さいたまスーパーアリーナ



JR大宮駅



さいたま市大宮盆栽美術館

◆次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等について

■現在の総合振興計画について

さいたま市の目指す3つの将来都市像
**見沼の緑と荒川の水に象徴される
環境共生都市**



荒川



見沼田圃



元荒川



見沼通船堀

◆次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等について

■現在の総合振興計画について

さいたま市の目指す3つの将来都市像

**若い力の育つゆとりある
生活文化都市**



◆次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等について

■現在の総合振興計画について

実現に向けて

1 市民と行政の協働による都市づくり

「市民活動」

2 効果的で効率的な行財政運営による

都市づくり

「行財政運営」

3 さいたま市らしさを生み出す都市づくり

「都市イメージの確立・共有と発信」

◆次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等について

■現在の総合振興計画について

施策展開の方向 7つの分野

- ①安らぎと潤いある環境を守り育てる 「環境・アメニティ」
- ②子育てを応援し、だれもが健やかに安心して暮らせる 「健康・福祉」
- ③一人ひとりが生き生きと輝く個性を育む 「教育・文化・スポーツ」
- ④人と環境に配慮した質の高い基盤をつくる 「都市基盤・交通」
- ⑤産業の活力を高め、躍動する都市づくりを進める 「産業・経済」
- ⑥安全を確保し、市民生活を支える 「安全・生活基盤」
- ⑦理解を深め合い、多彩な交流を広げる 「交流・コミュニティ」

◆次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等について

■次期総合振興計画の策定に向けた これまでの主な取組（平成29～30年度）

平成29年度

- 基礎調査の実施 通年
- 総合振興計画在り方検討委員会の開催
（8～3月）



平成30年度

- 各区検討懇話会の開催 12～1月
- 市民ワークショップの開催 8～10月
- タウンミーティングの開催 7～10月
- 総合振興計画シンポジウムの開催
（7月）
- 市民アンケート調査の実施
（6～7月）

◆次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等について

■平成29年度 計画策定に向けたこれまでの主な取組内容

1 総合振興計画在り方検討委員会の開催（8～3月）

- ・今後の都市づくりの論点整理、計画の体系や期間など今後の総合振興計画の枠組みの検討（委員：7名）

2 計画策定に向けた基礎調査の実施（通年）

- ・各種統計指標などを活用しながら、本市の強み・弱みや特徴を客観的に抽出し、次年度以降の検討を効率的に進めることを目的として、本市を取り巻く環境の変化や各行政分野の現状・課題などを調査

◆次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等について

■平成30年度 計画策定に向けたこれまでの主な取組内容

1 市民アンケート調査の実施（6～7月）

- ・無作為抽出により、本市在住の市民を対象とし、「市での住み心地」「市のイメージと魅力」「市の取組に対する満足度・重要度」などについてアンケートを実施しました。（回収数：3,893件）

2 総合振興計画シンポジウムの開催（7月）

- ・「さいたま市が目指す新しいまちのデザイン」「ともにつくるさいたま市」をテーマに、まちづくりの新しい計画づくりのスタートに、さいたま市の未来について市民の皆さんと一緒に考えるシンポジウムを実施しました。（参加者：約260名）

3 タウンミーティングの開催（7～10月）

- ・「市民と行政がともにつくるこれからのさいたま市 どんなまちにしたいですか？」をテーマに、市長が各区を訪問し、参加者のみなさんと直接意見交換を行う、「タウンミーティング」を開催し、様々な御意見をいただきました。（参加者：約200名）

4 市民ワークショップの開催（8～10月）

- ・市民の皆様の視点から、さいたま市やお住まいの地域などの今後のあり方と市民の皆様ができることなどを検討していただき、様々なご意見をいただきました。（開催回数：4回、延べ参加者数：約250名）

5 各区検討懇話会の開催（12～1月）

- 13
- ・「各区の将来像」について、各区において活動する各種団体からの意見聴取（委員：157名）